



ゴールドビーチ大浜海開き



みなみおおすみ

みんなの議会

4月・5月・6月会議

補正予算

所管事務調査報告（教育産業常任委員会）

一般質問

町民と行政のかけはし

第45号

平成28年
8月号

補正予算総額

254,430 千円を可決！

6月9日より開催された議会定例会6月会議に於いて上程された、一般会計補正予算2億5千2百61万5千円と国民健康保険事業等の特別会計1億81万5千円、総額2億5千4百43万円を可決しました。

また、これらを含む9件の議案を全て可決し、1件の陳情を採択しました。

補正予算の主なものは、「老人福祉センター空調整備事業」や「ばれいしょ選果施設更新事業」、「道路等景観創生（フラワーロード佐多岬）事業」等があります。

また、本庁舎の耐震化に伴い、「庁舎のあり方等調査検討特別委員会」を設置し調査検討を行う事としております。尚、最終日に予定していた辺塚地域での「タブ群生と植物群落林」の視察は、悪天候の為、延期となりました。

ばれいしょ選果施設更新事業

鹿児島きもつき農協が運営する、ばれいしょ選果場は稼働から17年が経過し、機械の老朽化による故障やトラブルが、頻繁に発生するようになり、選果作業に支障をきたしています。そこで、選果施設を更新し、安定した選果選別作業を可能にしていきます。



109,580 千円

全体事業費：731,003 千円（選果機械：677,160 千円・施設増設：53,843 千円）

負担割合：国庫補助金…………… 338,427 千円

南大隅町…………… 109,580 千円

錦江町…………… 59,634 千円

鹿児島きもつき農協…………… 223,362 千円

保育所整備事業

根占保育園舎の窓枠のゆがみやトイレ手洗い場の改修を支援し、より安心安全な保育環境を確保します。



19,005 千円

全体事業費：25,340 千円
負担割合：国 …… 2/4
町 …… 1/4
保育所 … 1/4

道路等景観創生事業 (フラワーロード佐多岬)

佐多岬の再整備に併せて主要幹線道路沿いの景観環境整備を行います。今回は、根占交番前の花壇を整備します。



35,000 千円

県補助金：11,350 千円
町負担金：23,650 千円

南大隅町老人福祉センター 空調設備整備事業

全館集中管理システムによる既存の空調設備が老朽化の為、故障も多く、使用できない部屋等も出てきた為、ランニングコストも考慮し、1階に4台、2階に3台の個別の設置を計画しました。



5,865 千円

【事業内容】

- ・工事請負費：1,655 千円
- ・備品購入費：4,210 千円



6月会議

議案の質疑

庁舎改修 判断基準 調査委託に ついて

【水谷議員】

この調査委託の目的及び委託先を伺います。

【総務課長】

本庁舎をそのまま耐震化をするか、新庁舎を建設すべきか判断する調査を実施します。委託先は、耐震診断結果を理解したコンサルを含め検討します。

【水谷議員】

庁舎建替えとなると、文化ホールまで建て替えると考えてよいかわかります。

【町長】

調査結果を踏まえ検討したいと考えます。

防災無線 デジタル化 工事契約に ついて

【大久保議員】

防災無線のデジタル化は3年計画と聞いているが、2年目の28年度末での出来高を伺います。

【総務課長】

2年間の工事額は5億8千万円となり、総額で8億円程度を予定していますので、出来高は約67%となります。

【大久保議員】

当初、10億以上の予定が9億を下回る状況だが、まだ下がる見込みはあるか伺います。

【総務課長】

下がる見込みは、あると考えます。

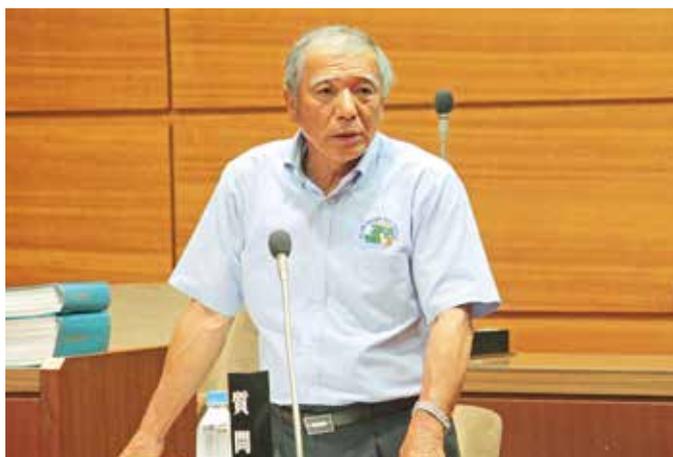
一目でわかる審議結果 6月会議

○全会一致の議案

議案 第2号	南大隅町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 第4号	平成28年度南大隅町一般会計補正予算(第3号)について	可決
議案 第5号	平成28年度南大隅町一般会計補正予算(第4号)について	可決
議案 第6号	平成28年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案 第7号	平成28年度南大隅町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案 第8号	南大隅町職員定数条例の一部を改正する条例制定の件	可決
議案 第9号	請負契約(平成28年度南大隅町防災行政無線同報系デジタル化整備工事)の締結について議決を求める件	可決
議案 第10号	校務用パソコン機器等購入契約の締結について議決を求める件	可決
陳情 第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2017年度政府予算に係る意見書の提出について	可決

4名の議員が町長・教育長に 町政を問う!!

一般質問（6月会議）



掲載順	質問事項	質問議員
1	<ul style="list-style-type: none"> 熊本大震災支援について 本庁舎・中央公民館棟の耐震について 雄川の滝について 	大久保 孝 司
2	<ul style="list-style-type: none"> 教育振興について 観光開発について 伊座敷トンネル工事について 	井之上 一 弘
3	<ul style="list-style-type: none"> 地域の産業における雇用の現状と対策について 観光産業の推進策について 	松 元 勇 治
4	<ul style="list-style-type: none"> 政策調整官及び職員の再任用について 財政状況について 	水 谷 俊 一

熊本大震災支援について問う



大久保孝司 議員

【大久保】4市5町による支援物資、職員派遣、義援金等の対応はどのような状況か伺います。

【町長】本町は、大隅半島4市5町復興支援チームの一員として宇城市・御船町の支援を行っています。支援物資は被災地から要請があった、毛布、飲用水等を2回に分けて輸送しました。職員派遣は、御船町で給水活動を中心に実施し、5月20日をもって終了しております。義援金については、義援金箱の設置や各自治会への呼びかけを実施しています。6月末を目途に集約し、日本赤十字社を通じて被災地に届ける予定です。

【大久保】1千1百万4千円の予算で一番必要とされた事業を伺います。

【総務課長】災害弔慰金の250万円、4市5町の復興支援チームの負担金50万円、職員の旅費等を支出しています。

【大久保】本町の職員が罹災証明の発行業務を行う事はなかったのか伺います。

【総務課長】今後、御船町から要請があれば、支援して行きたいと考えます。

【大久保】御船町に於いて、何カ所に何人の方が避難されているか、把握されているか伺います。

【総務課長】6月6日現在で、11カ所に350名の方が避難されており。

【大久保】現在、町内で寄せられた義援金の額を把握されているか伺います。

【介護福祉課長】6月3日現在で、確認できる義援金の総額は1百25万3千7百80円であります。

【大久保】義援金の総額、団体等、広報誌を利用し町民へ広報すべきだと思いが、町長の考えを伺います。

【町長】義援金等取りまとめましたら広報誌を利用して、公表したいと考えております。

【大久保】本町の被災者の生活再建支援に関する状況を伺います。

【町長】現在、熊本市から5名の児童が神山小学校へ体験入学し、給食費の免除を行っています。その他の支援実績はありません。

【大久保】その他に親戚を頼って避難されている方はいないか伺います。

【総務課長】児童以外には把握しておりません。

本庁舎・中央公民館棟の耐震について問う

【大久保】本庁舎、中央公民館は、震度6、7の地震で大規模な被害を受ける可能性が高いと診断結果が出ているが、補強工事、建て替えなどの方向性はどの様に考えているか伺います。

【町長】本庁舎・中央公民館は昭和48年に完成し、43年が経過しています。耐震化に係る対策については、今回の補正予算に於いて庁舎判断基準資料作成委託費を計上しております。完成資料を参考に多くのご意見を賜りながら良い方向性を、早急に見出して行きたいと考えます。

【大久保】委託される目的を伺います。

【町長】耐震基準は出ていますが、これに係る経費、それによって業務上支障が出る部分と新庁舎を建てた場合を対比する為の経費です。

【大久保】本庁舎・中央公民館を建て替えた場合の建設費用は計算されているか伺います。

【総務課長】おおよその建設費用の積算は可能かと思いますが、公表は控えさせていただきます。

【大久保】充当率が95%で借入額の70%が地方交付税で返ってくる合併特例債が平成31年度まで使用できると思うが、これを利用した事業計画は考えられないか伺います。

【町長】合併特例債が平成31年度までというスケジュールを踏まえ、今回、検討をしたいという事です。

【大久保】借入金が年々増加しているのも事実であります。建設に至った場合、財政面としてどの様に考えるか伺います。

【総務課長】庁舎建設には国の補助金はありませんので、合併特例債を活用する事になります。地方債充当後の一般財源分については町有施設整備基金が14億3千万円程度ありますので財政的には大丈夫であるかと考えます。

【大久保】平成28年度の基金積立額を伺います。

【総務課長】平成28年度末の特定目的基金の残高は85億7千8百万程度になる見込みです。

【大久保】平成26・27年度併せて今回の5億以上にのぼる基金の取り崩しを、どの様に考えるか伺います。

【町長】基金の取り崩しには必要性がありました。また、交付金の配分を考え、財調

基金は減らすべきだと考えます。

雄川の滝について

【大久保】4、5月の大型連休時の進入道路等の混雑状況を伺います。

【町長】5月4・5日進入道路や駐車場が混雑する状況が発生しました。4日の午後は、渋滞を待ちきれず路肩駐車をした車の影響で離合が出来なくなり混雑が発生しております。

【大久保】この様な状況は予想していなかったのか伺います。

【企画観光課長】昨年のシルバークの状況を鑑み、4日は、警備員を含め7名体制で臨んだにもかかわらず、混雑が発生しました。5日は15名に増員したところ、ある程度、混雑は緩和されました。見込み違いは

反省するところだと考えます。

【大久保】数多くのクレームが寄せられたのではと考えるが、どの様な状況か伺います。

【企画観光課長】現場では、あつたと認識しています。

【大久保】平成26年12月の一般質問で、町道発電所線の拡幅工事について質問したところ、平成27年度中の工事を答弁されました。しかし、未だにされていない。企画観光課と建設課の連携は取れているのか、伺います。

【企画観光課長】常に連携は取っているつもりです。

【建設課長】迂回路が無いのが難点でありまして、工事の安全を考え工事を進めておりますが、27年度完成予定を28年度まで繰り越している工事もございます。28年度中の完成を目指して整備を進めております。

【大久保】8月から雄川の滝の開放が予定されているが、駐車場や進入道路の整備など、観光客への対応は計画されているか伺います。

【町長】大型連休の反省を踏まえ、観光客や地元の方々にも不便を掛けない様に、連絡調整を図りながら、安全対策に努めてまいります。

【大久保】現在、町道発電所線は工事中ですが、8月に開放できる状況なのか伺います。

【建設課長】8月の全面開放に向け取組んではいます。今後の天候等にもよりますが、出来る限り支障のないように進めたいと考えます。

【大久保】雄川の滝で本町にお金が落ちるか疑問に思うが、8月に、販売提供する計画はあるか伺います。

【企画観光課長】雄川の滝では5月の連休同様、PR車「なんたん号」で佐多岬と調整しながら、販売をして行こうと考えております。



教育振興について問う



井之上 弘 議員

【井之上】本町の小学生、中学生の不登校といじめの現状、並びに今後の対策について伺います。

【教育長】平成27年度の不登校については、中学校で3件発生しております。28年度は現在のところ不登校の児童生徒はおりません。いじめは平成27年度に3件の事案が報告されております。これらは全て、学校の素早い対応で解決しております。平成28年度は3件の事案が報告され、その内1件はすでに解決しておりますが2件は継続して指導中です。

【井之上】平成26年度、中学校の卒業式に出席したところ、卒業生16名の内1名が欠席していました。また、平成27年度の卒業式でも13名の内1名が欠席していました。わずかな生徒数にも関わらず、このような事案が発生している状況をどのように考えているか、伺います。

【教育長】卒業式に出席できない子どもは、不登校傾向にあった子どもでもありません。年間33日以上出席しない子どもを不登校と呼んでいます。これ以外にも、登校はするものの、教室には入れず、保健室や図書室で勉強をしながら過ごす子どもたちもいます。そのような子どもは、なかなか卒業式には参加できない状況にあります。最近では、そのような子どもが増えている状況です。現在は、本町に於いて、そのような子どもは一人もいない状況で

あります。

【井之上】この様な事案に対応する為に、佐多支所に於いて教育委員会を開催した事があるか、伺います。

【教育長】佐多支所に於いて教育委員会を開催した事は1回もありません。

【井之上】その様な事案が佐多地区に於いて発生したら、校長や担当者の話を聞き、それらに対応する為に、佐多支所で教育委員会を開催するべきだと考えるが、教育長の考えを伺います。

【教育長】もつともな意見だと思えます。教育委員会としましては毎年学校訪問も実施しております。今後は、佐多支所に於いても教育委員会を開催する方向で検討して参りたいと考えます。

観光開発について問う

【井之上】佐多岬・雄川の滝の整備後は、観光客の増加が見込まれるが、根占・山川フェリーを大型船に更新する考えはないか伺います。

【町長】現在、根占・山川フェリーは、平日4便、土日は5便を運航しています。繁忙期になりますと、積み残しが発生しており、利用者には大変迷惑をおかけしております。運行体制につきましては、大型船への更新や2隻体制への可否も含め山川・根占航路運航推進協議会に於いて検討していく事となっております。

【井之上】小型船による2隻体制という考えもあるかと思えますが、船が1隻増える事により、維持費、管理費、経費が大幅に増加します。その辺りを考慮すると、大型船への更新の方が良いのではと考えるが、町

長の考えを伺います。



【町長】今年のゴールデンウィーク中の5月3・4・5日に、乗船できずUターンした車の台数の調査を根占港でお願いしたところ、309台いたとの事でした。1日の運行で約80台の車を運搬するとなると、もう1隻いても、まだ、足りない事になります。その事を踏まえ、協議会に於いて今後、検討する事になっています。



【井之上】根占港側の積み残しを考えれば、山川港側でも相当数あったのではと考えます。早急に対策を講じるべきだと考えます。そこで、年間の稼働日数を伺います。

【企画観光課長】平成27年度は、ドックによる休みを含め336日となっています。稼働率は、86.4%となります。ちなみに、乗船された車輛（バイクを含む）台数は、延べ

2万2千7百73台で、1日平均63台が乗船しています。また、人間の乗船は5万8千7百4名で、1日平均163名の方々が乗船された事になります。

【井之上】相当数の利用があると考えます。早急に検討され、対応されることを求めます。

伊座敷トンネル 工事について問う

【井之上】伊座敷トンネル工事の現在の進捗状況と開通の時期はいつ頃になるか伺います。

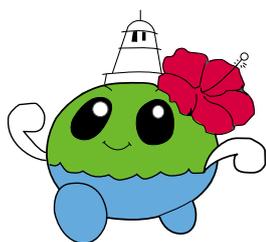
【町長】伊座敷トンネル工事は鹿児島県が発注し、平成25年度に着手し現在に至っています。トンネルの計画延長2千1百51mの内、平成28年5月末現在で1千3百13mを掘削し、進捗率61.5%と伺っております。また、トンネルの

貫通時期は平成30年1月の予定で、工事完成は平成30年代前半になる見込みとの事です。



【井之上】この、伊座敷トンネルの伊座敷側の出入口に、Aコープ駐車場付近が計画されています。そのことに対し、付近の住民より交通事故等、色々な問題が懸念されると、たびたび耳にするが、確認されているか伺います。

【町長】トンネルの出入口付近にお住いの方々からも騒音の問題等も含めお伺いしております。今後、出入口付近の交通安全・騒音問題・環境整備等に関して、地元住民の声を良く聞きながら県当局と話し合ってきたいと考えます。



地域の産業における雇用の現状と対策について問う



松元勇治 議員

【松元】農林、水産業の従事者の人手不足をどの様に考えているか伺います。

【町長】第1次産業の労働力の確保は難しい状況にあります。中でも、耕種農業の繁忙期の人手不足は、地域社会の高齢化、農業従事者の高齢化に加え、基幹的農業従事者の減少により、労働力の確保は本町に限らず厳しい状況にあると考えます。今後J A、関係機関と連携しながら対応策を検討したいと考えます。

【松元】インゲンなど施設野菜農家に話を伺うと、収穫時期の人手不足が一番の問題点だと言われます。そ

の様な声に、どの様に配慮されているか伺います。

【経済課長】農家の方に話を伺うと、ただ人手があれば良いだけではなく、丁寧な仕事に加え、短期間で、廉価な雇用を求めているらしいやいます。その様な中、常時雇用は別として、一時的な労働力の確保は難しいと感じています。

【松元】水産業に関しては、鹿屋方面から仕事に来る若者がいる様です。朝が早い仕事で、若い世代が入れる住宅があればという声を聞きます。若い世代の為の住宅の建築は考えられないか伺います。

【町長】町で施設を作るとなると、少々問題があると考えます。移住・定住また、雇用などに対しては様々な補助制度を作っておりますので、それらを活用し、民

間の施設や住宅等を活用できるのではと考えます。増え続ける空き家を活用した対応策を考えて行きたいと考えます。

【松元】南さつま市では、民間が建設した建物を町が一括で借り上げ運営する、民設公営住宅という試みも実施されています。今後は、この様な事案も、考慮されるべきだと思えます。若い世代の住宅の確保は、雇用の確保にも繋がって行くと考えます。

【松元】商工業者スタートアップ創業支援事業の中の継承者支援をもっと充実する考えはないか伺います。

【町長】今年4月より継承者支援を充実するために、所得税法による開業届まで済まなくても、事業を継承する目的で、事業を開始した場合、商工会の意見をも

とに、支援を図って行く考えです。今後、町商工会など関係機関と連携し、事業継承者がいない事業者に対し、事業を継承できる体制を整備検討して参ります。

【松元】やめてしまわれた方の仕事を、もう一回、立ち上げて、継続して行けるような環境を作る為にも、スタートアップ創業支援事業を実施して頂きたいと考えます。

【松元】シルバー人材センターの現状と今後について及び、中年層の人材を派遣する組織（ブロンズ人材センター）は、どの様に進める計画があるか伺います。

【町長】シルバー人材センター現状は、平成27年度は、865件を受注し、844件対応しております。就業延人数は1万1千7百07名で、1日当たり平均32名の会員が就業した事になります。今後は、事業目標に沿って、受託事業や派遣事業を実施しながら、独自

事業の展開に力を入れ、就業開拓と会員増加、地域密着型のサービスの提供に努めて参ります。次に、ブロンズ人材センターにつきましては、シルバー人材センターと同様の請負事業の他、町内の事業所や、NPO法人、行政等と連携し、職業体験や創業支援、職業紹介も併せて実施したいと考えます。将来的には空き家バンクの運営を受託し、若者の仕事に関する業務と移住定住に関する総合窓口を担う組織に育てて行きたいと考えます。

【松元】ブロンズ人材センターは、地方創生加速化交付金を利用して計画されたと思うが、現在ほどの様になっていないか伺います。

【総務課長】現在、国の地方創生加速化交付金に事業申請を行っております。6月下旬から7月上旬には、結果が判明すると思われ

【松元】ブロンズ人材セン

ターには、非常に興味を持ちました。もし、国の補助事業に採択されなくとも、

予算的に負担が掛からず、実施出来る様なら、町単独でも実施して行く考えはな

【町長】この事業は、国の採択がなかったとしても、

本町には必要な事業だと考えますので、町単独事業として実施して行きたいと思

【松元】町税の収入も、年々減少していますが、労働者あつての税収です。今後行政サービスを維持して行く為にも、プロンズ人材センターを活用した、人材の確保に、努めて頂きたい。

観光産業の推進策について問う

【松元】最南端MY旅プロモーション事業に於いて、SNSを活用した観光産業に従事する人材を募集する考えはないか伺います。

【町長】具体的な事業内容は、多くの閲覧者をもつインスタグラマーを招き、町内の観光地を撮影した写真を自身のインスタグラムに投稿してもらう事業。また、アマチュア写真家を招き観光スポットの撮影会を実施し、その素材を各種の広告媒体やWEBサイトに於いて活用する事業。さらに、PRレディを活用した都市圏でのプロモーション事業を展開するものです。事業効果として、都市圏における認知度が向上して誘客に繋がり、ひいては本町の魅力を感じてもらおう事が、移住定住を含めさまざまな業種に従事する、人材確保にも効果があると考えます。

【松元】この事業は来年度も実施する考えか伺います。

【町長】実施する計画です。

【松元】以前、ソフト事業で、スミツ娘クラブのCDを作りましたが、全く聞く事がなくなりました。このCDを今後どのように活用する考えか伺います。

【企画観光課長】観光宣伝の媒体は大変早く動いている状況で、長期的に固定化して行く事はなかなか難しいのが現状です。

【町長】スミツ娘のダンスチームを作って頂くように南大隅高校に申し入れております。今後は、実物で広報活動を実施して行きたいと思ひます。

【松元】大隅半島広域で見

すの現状をどの様に考えているか伺います。

【町長】現状では、便数も少なく、大隅広域全体を見ても、管内を周遊するには十分な交通アクセス環境が提供できていないと、認識しています。今後、関係機関とも調整しながら、協議・検討を進めてまいります。

【松元】大隅半島をぐるりと廻る観光バスが必要だと考えるが、可能性があると思われるか伺います。

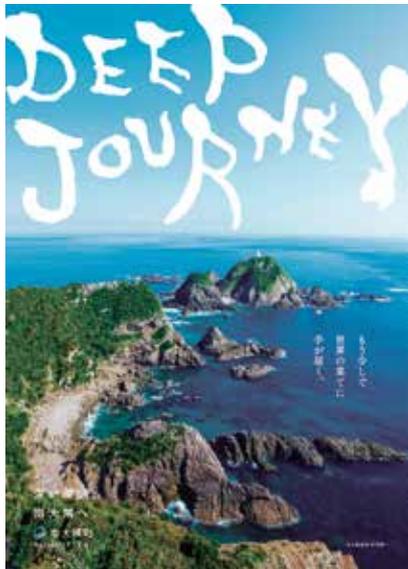
【町長】南隅地区は、その必要性を抱いているが、鹿屋市やそれ以北の地域は、あまり興味を持っていないのが現状です。

料観光バスの運行などは出来ないか伺います。

【町長】県や観光連盟、観光協会など関係機関と連携してプレオープンに向けた取り組みを推進して参りたいと考えます。

【松元】プレオープンのイベントには、モニターツアーの実施や、無料バスの運行は必要だと考えます。町単独予算でも実施すると、オープン時の準備にもなり、観光産業により地域に経済効果が生まれる事も実感できると考えます。住民に希望を与えて、未来に取組む姿勢を示して頂きたいと要望いたします。

【松元】佐多岬公園などのプレオープンに向けて、県や県観光協会などに働きかけ、モニターツアーや無



政策調整官及び職員の再任用について問う



水谷俊一 議員

【水谷】政策調整官の職務内容及びその必要性を伺います。

【町長】今年4月より、住民サービスの向上を図る為、政策調整官を配置しました。職務内容は、自治会支援、移住・定住・新規就農・起業支援、介護福祉支援、佐多地区の総合的な支援などワンストップ窓口業務であります。豊富な経験によりスピード感を持って処理されており、町民から多く喜びの声をいただいています。役場組織内部に於いても、豊富な経験を活かした業務連携が図られています。

【水谷】政策調整官の職位はどのような位置づけか伺います。

【総務課長】給与分類でいうと、一般行政職の3級相当職となります。

【水谷】給与は3級相当という事だが、「職員の職の設置に関する規則」では「グループ長」の下「主幹」のうえに記されているが、権限も3級相当という事で宜しいか伺います。

【総務課長】職種については、全体を把握する政策調整官という事を考え、職の位置については規則の様に配置したところです。

【水谷】今回政策調整官には、再任用職員4名が就いているが、必要な場合は、この職に、通常職員を充てる事も考えられるか伺います。

【町長】政策調整官は再任用制度の中で生まれた取り組みで、実証実験的な部分もあるかと思っております。

【水谷】再任用職員の勤務条件等、定められた内容を伺います。

【町長】本町に於いては、週4日の短時間勤務職員として採用しています。勤務条件については、給与月額が主査級（3級）の格付けで、支給される手当は、期末勤勉手当、通勤手当、時間外勤務手当となっております。

【水谷】短時間勤務職員として採用される場合は、給与は勤務時間に比例すると考えてよいか伺います。

【総務課長】週4日の勤務であれば定められた月額給与に4/5を乗じた給与となります。

なります。

【水谷】健康保険や年金・雇用保険等の加入はどのようなか伺います。

【総務課長】短時間勤務の場合、健康保険は社会保険となり、雇用保険は加入できるとされています。

【水谷】基本的には、厚生年金・社会保険・雇用保険への加入が、義務づけられているはずですが、職員の再任用の制度は、退職後、年金が支給されるまで個人の選択により、働くことが出来ること、条例等でも定められた制度です。今後は、再任用制度に関する要綱を作成し、同じ条件のもと、職員が安心して再任用の希望ができ、受け入れる側も新規採用者とのバランスの取れた、職員構成となるような体制を計画する事が、重要だと考えます。これまでの話をまとめると、再任用職員は、非常勤の職員という位置づけで宜しいか伺います。

【総務課長】「職員の給与に関する条例」の中に再任用職員が記載されていますので、常勤職員という見解でございませぬ。

【水谷】条例の中では、非常勤職員（再任用短時間職員を除く）という記載が出てきます。という事は、条例では非常勤職員と位置付けている事になります。再任用短時間職員は職員数にも含まれません。また、これまで質問してきた様に、年金・健康保険・雇用保険等も変わります。その様な点からも、非常勤職員であると考えます。「職員の職に関する規則」において、「職員とは町長の事務部に勤務する常勤の職員をいう」とあります。ということは、再任用職員は、政策調整官の職に就任する事は出来ない事になります。もう少し精査されたうえで、実施される事を望みます。

：最終本会議にて…

【総務課長】前回、再任用職員は常勤職員であると答

弁しましたが、非常勤職員であると訂正いたします。

財政状況について問う

【水谷】南大隅町として、初めて70億円を超えた一般会計予算及び特別会計をあわせると、総額10億9千4百52万8千円となる平成28年度予算をどの様に評価しているか伺います。

【町長】平成28年度当初予算は今、本町に必要な事業、将来の本町の為に、今やるべき事業を網羅し、その財源についても十分に配慮した当初予算であると認識しています。

【水谷】人口7千5百人程度の町とすれば、平成24年度の、一般会計当初予算が約55億、特別会計を加えても約87億円規模が適当かと考えます。そこで、予

算編成の際は、ボーダーラインは設けずに必要と思われる事は全て実施しようと考えているのか伺います。

【総務課長】予算編成を行う際はまず事業に対する補助金の有無を確認し、次に、有利な地方債を探すが優先されます。そういった中で、28年度は、やらなければならぬ事業が多かったと考えます。また、一般財源ベースで約45億円を目的に、予算編成を行っています。

【水谷】今後、歳入が減少して行く事への危機感はないか伺います。

【町長】合併後、10年が経過し人口減少などにより地方交付税や町税収入等の減少が懸念されます。普通交付税も段階的縮減期間に入っており、合併特例債の活用期間も平成31年までとなっており、引き続き危機感を持ちながら財政運営に努めて参ります。

【水谷】平成25年度以降、増え続ける借入金金、どの様に考えているのか伺います。

【町長】平成27年度末、地方債残高は8億8千1百34万8千円になると見込んでおり、おっしゃる通り年々増加しています。地公債の運用につきましては、交付税措置率の高い「辺地対策事業債」「過疎対策事業債」「合併特例債」を中心に活用しており、町の実質的な負担を抑制した事業資金の調達に努めてきました。今後も効果的な事業の選択と町財政に極力負担を掛けない資金調達に心がけ健全な財政運営を実施して行きます。

【水谷】有利な地方債を借りて財政運営を行うとの事、いくら交付税措置があるうと、借金は借金です。有利な地方債を借りる事が出来るから、事業を実施して行くという考え方には、少し怖さも感じますが、町長の考えを伺います。

【町長】まず、使える補助事業があるか、次に有利な使える地方債があるか、最後に町単独でどれくらいの予算が必要になるかが、判断基準になってきます。ただ、事業そのものが本当に必要なか、金額が妥当かという事が、最初のとっかかりになると考えます。

【水谷】今年度もそうですが、借入金の返済額より新たな借入額の方が多くなっています。この様な予算編成を行えば、借入金が増えるのは当然の事だと考えます。必要な事業は実施しなければなりません。返済額よりも借入額が増える時は、増えた額だけ、基金で補うべきだと考えるが、町長の考えを伺います。

【町長】平成21年度に県との調整の中、「借金は増えなくても基金は積み上げろ」と指導を頂きました。その結果、将来負担率は0になってきました。今後も、基金は残しながら有利な借り入れでやっていく、尚且つ、

町の運営として健全な運営状況が出来るラインを求めて行きたいと考えます。また、平成31年まで有利な借り入れがある内に、必要な事業は実施して行きたいと考えます。

【水谷】それにしても、本町の基金の積み上げは異常だと考えます。県の指導が全て正しいとは、私は思いません。自分の町の財政は、自ら、しっかり考え、管理すべきものだと考えます。また、増えた借入金は一度には減りません。この様な状況下で、財政規模が50億程度になると、公債費率は一気に上がります。本町の財政規模を考えた時に、このままでは、公債費の比率が高まってくるのではないか、考えておくべきだと思います。

学校等調査

【教育産業常任委員会所管事務調査】

7月12日に、教育産業常任委員会では、町内の幼稚園、小・中学校、給食センター、南大隅高校生徒寮の調査を実施しました。各学校の取組や教育方針等の説明を受け、意見交換を行いました。学校側から施設・設備の整備など、様々な要望が出されました。中でも、いじめや不登校、児童生徒の指導上の課題に対応するために、専門的な知識・技術や資格を有した指導者を配置・活用するスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの派遣事業は各学校とも必要性を感じ、活用しています。今後にも必要に応じて活用して行きたいとの要望が出されました。当委員会としては、学校や保護者の要望に沿って十分活用できる様、継続した取り組みを教育振興課に要請しました。



編集後記

まだまだ暑い日が続いていますが、季節は立秋の気配がほの見える季節となりました。この時期の暑さは、夏の名残の残暑と呼ばれてはいますが、やはり、暑いです！

ところで、表紙はゴールドビーチ大浜での海開きの写真です。波打ち際ではしゃぐ子どもたちは、やはり、夏の風物詩であります。ひと昔前までは、虫かごに網を持ち、クワガタにカブトムシ、チョウチョやトンボなどを追いかける子どもたちを良く目にしたものですが、最近では全く、見かけなくなりました。変わって、スマホ片手に「ポケモンGO」街中で、ポケモンの珍獣を追いかけまわす世界中の人々。現実の世界から逃げ出し、「バーチャル(仮想)」の世界にわが身を置きたがる現代人が、増えてきた様に思われます。自分の意思のみが存在する世界に身を置く事で、自己中心な人格が形成され、結果、現実世界とバーチャル世界の境界線を見失い、これまでも様々な事件・事故が発生してきました。今、話題の「ポケモンGO」は、現実世界の中で、バーチャルを追い駆けまわすという、二つの世界の境界線を取り扱ったゲームです。これにより、悲惨な事件・事故が起こらない様に社会のルールだけは、しっかりと守って欲しいものです。特に、子どもたちには、昆虫等を追い駆けながら、現実世界の中で、心身共に成長して欲しいと思います。

議会に対するご意見や「みんなの議会」を読まれたご感想などを、お待ちしております。

水谷 俊一

【お知らせ】

9月会議は、本庁議会場で開催されます。一般質問等、「議会だより」では見えない議会が、ご覧になれます。

詳しくは、議会事務局までお問合せ下さい。



【発行責任者】

議長 大村 明雄

【広報編集委員会】

委員長 水谷 俊一

副委員長 川原 拓郎

委員 浪瀬 敦郎

委員 持留 秋男

委員 大久保 孝司

委員 井之上 一弘

議会を傍聴してみませんか！